
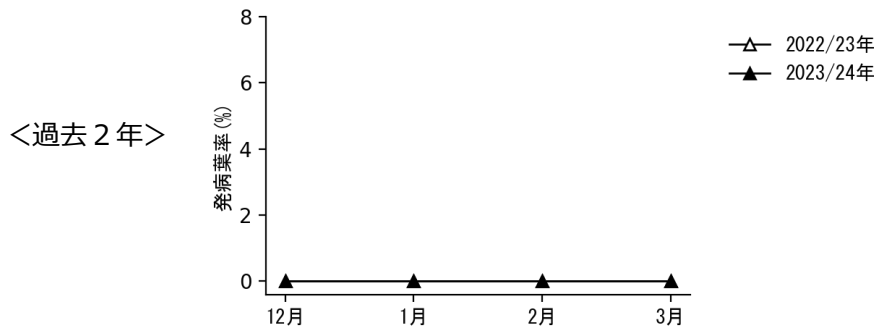
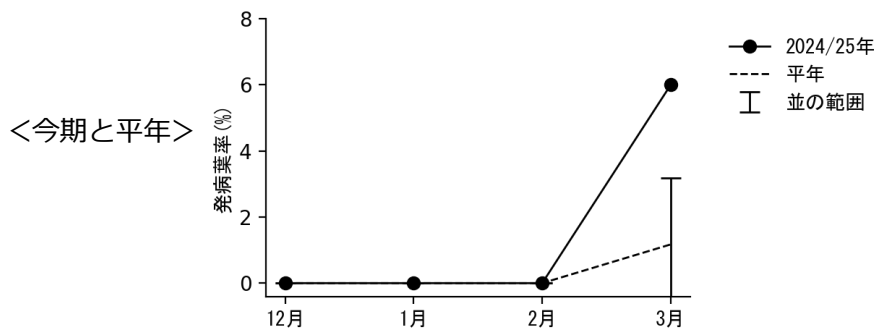


|       |               |     |    |   |
|-------|---------------|-----|----|---|
| 作物    | さやいんげん(施設)    |     | 地域 | 宮古群島  |
| 病害虫名  | 菌核病           |     |    |  |
| 調査結果  | 3 月の発生量 (平年比) | やや多 |    |   |
| 予 報   | 3 月からの増減傾向    | —   |    |   |
|       | 4 月の発生量 (平年比) | —   |    |   |
| 予報の根拠 |               |     |    |   |

調査結果

発病株率の推移



- ・発生施設率50.0% (平年 : 10.3%)
- ・一部施設で多発

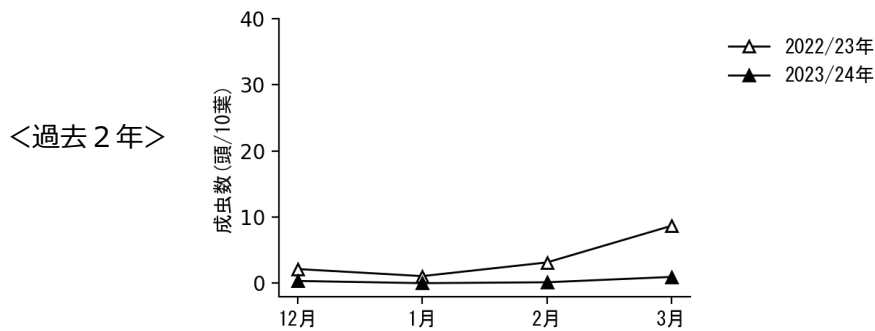
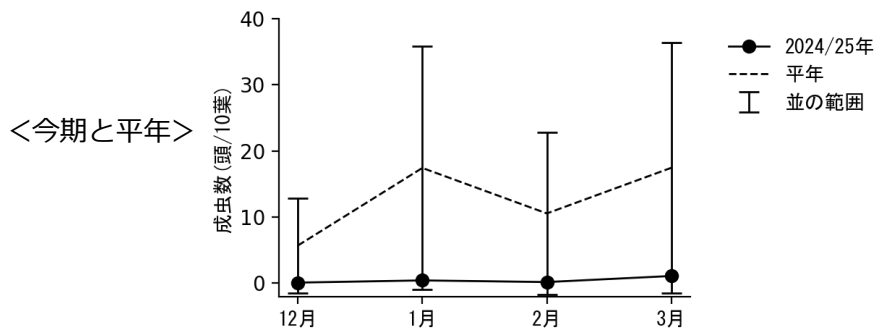
防除のポイント

- ・発病部位は菌核が形成される前に早めに除去し、ビニール袋に入れるなどして施設外へ持ち出し処分する。
- ・多湿条件下で発生しやすいので、老葉病葉は取り除き透光通風をよくする。

|       |               |    |  |
|-------|---------------|----|--|
| 作物    | さやいんげん(施設)    | 地域 | 宮古群島   |
| 病害虫名  | タバココナジラミ      |    |  <p>成虫</p> |
| 調査結果  | 3 月の発生量 (平年比) | 並  |  |
| 予報    | 3 月からの増減傾向    | —  |  |
|       | 4 月の発生量 (平年比) | —  |  |
| 予報の根拠 |               |    |  |

調査結果

成虫数の推移




・発生施設率50.0% (平年 : 48.3%)

防除のポイント

- ・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
- ・施設の出入口や天窓は目愛の細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- ・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
- ・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。

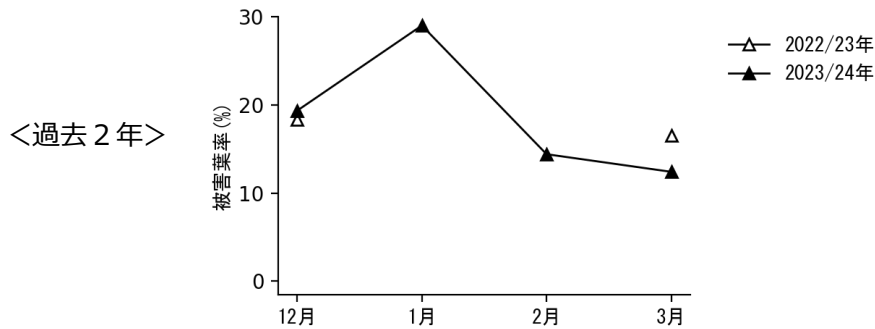
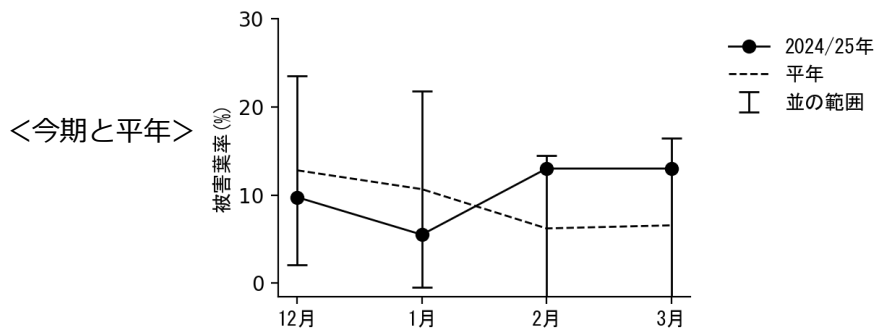


幼虫

|       |               |   |    |   |
|-------|---------------|---|----|---|
| 作物    | さやいんげん(施設)    |   | 地域 | 宮古群島  |
| 病害虫名  | ハモグリバエ類       |   |    |  |
| 調査結果  | 3 月の発生量 (平年比) | 並 |    |   |
| 予報    | 3 月からの増減傾向    | — |    |   |
|       | 4 月の発生量 (平年比) | — |    |   |
| 予報の根拠 |               |   |    |   |

調査結果

被害葉率の推移




・発生施設率50.0% (平年 : 34.5%)

防除のポイント

- ・摘葉等による残さは発生源となるので、施設外に持ち出し処分する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・多数の在来天敵が存在するため、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。

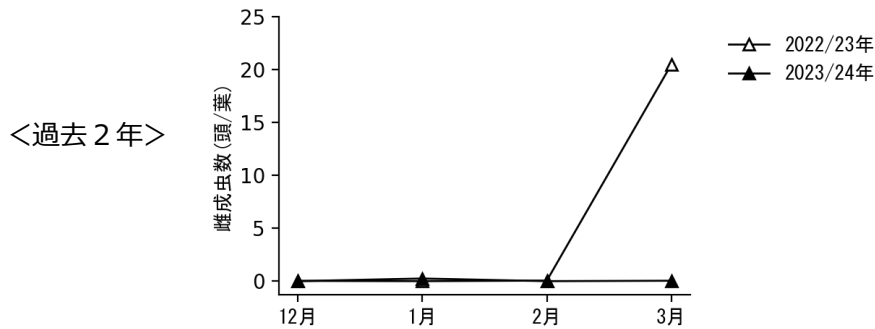
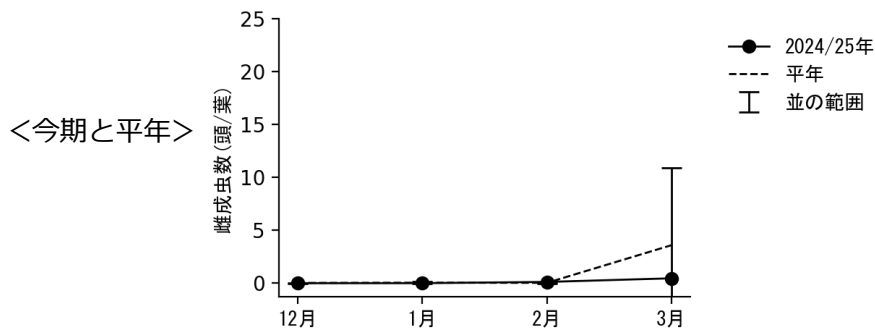


被害葉

|       |               |   |    |   |
|-------|---------------|---|----|---|
| 作物    | さやいんげん(施設)    |   | 地域 | 宮古群島  |
| 病害虫名  | ハダニ類          |   |    |  |
| 調査結果  | 3 月の発生量 (平年比) | 並 |    |   |
| 予報    | 3 月からの増減傾向    | — |    |   |
|       | 4 月の発生量 (平年比) | — |    |   |
| 予報の根拠 |               |   |    |   |

調査結果


雌成虫数の推移



・発生施設率50.0% (平年 : 29.2%)

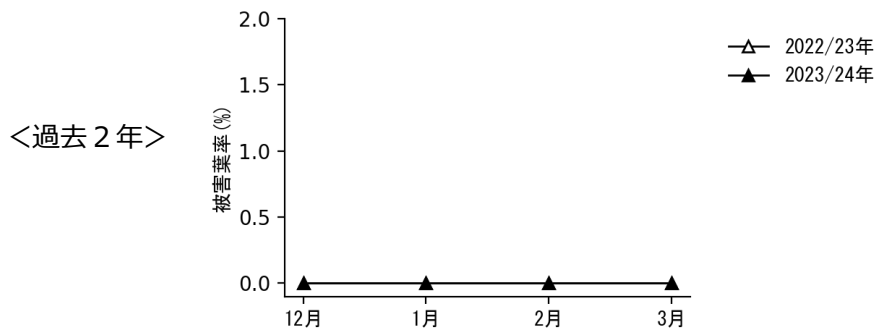
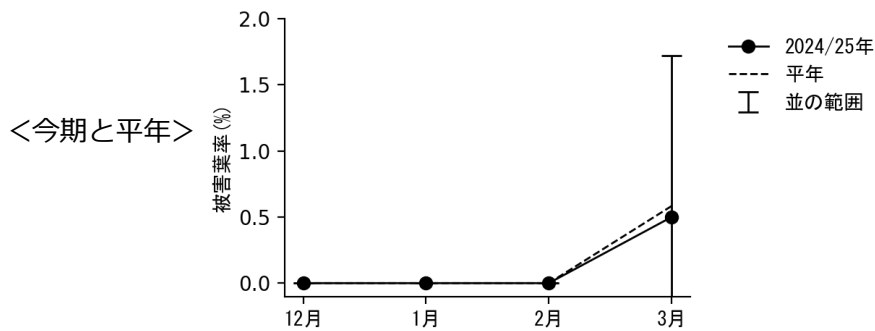
防除のポイント

- ・葉裏に多いことに留意しながら、丁寧に薬剤散布する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

|       |               |   |    |  |
|-------|---------------|---|----|--|
| 作物    | さやいんげん(施設)    |   | 地域 | 宮古群島   |
| 病害虫名  | ホコリダニ類        |   |    |  <p>被害葉</p> |
| 調査結果  | 3 月の発生量 (平年比) | 並 |    |  |
| 予報    | 3 月からの増減傾向    | — |    |  |
|       | 4 月の発生量 (平年比) | — |    |  |
| 予報の根拠 |               |   |    |  |

調査結果

被害株率の推移



・発生施設率25.0% (平年 : 8.3%)

防除のポイント

- ・発生源となる施設内外の雑草除去に努める。
- ・発育速度が早く、短期間で高密度になりやすいため、早期発見・防除に努める。
- ・薬剤が到達しにくい生長点付近や未展開葉に潜っているため、薬散は丁寧に行う。